

会津坂下町消防団

春季検閲式



会津坂下町消防団春季検閲式が4月29日、坂下小学校グラウンドで行われました。式には消防団員約450名が参加し、整然と通常点検、小隊訓練、機械器具点検を受けました。

今年度の新団員44名、新女性班員10名、新ラッパ隊長1名、新ラッパ隊員5名に黒澤副団長より辞令が交付され、新入団員を代表して第7分団第6班鈴木史人さんが力強い宣誓をしました。その後、消防活動に功労があった下記の団員にそれぞれ表彰状が贈られました。

永年勤続章

【敬称略】

【第一分団】

仙波 勝人

上野 朗弘

【第二分団】

新井田 剛

石井 達也

二瓶 和彦

【第三分団】

猪俣 幸次

長峯 秀之

渡部 誠也

長谷川 健

上野 貴志

【第四分団】

青柳 淳一

邊見 豊

【第五分団】

佐藤 裕司

高畑 真道

大島 貴洋

【第六分団】

佐藤 芳弘

佐野 博喜

岩淵 秀二

【第七分団】

笹島 靖典

渡辺 康之

田部 栄喜

功績章

【敬称略】

【第一分団】

川野 俊昭

高松 武司

【第二分団】

新井田 剛

石井 達也

二瓶 和彦

【第三分団】

大堀 隆文

遠藤 勝弘

【第四分団】

石川 青龍

目黒 正博

宇内 信

【第五分団】

大竹 一臣

代島 克美

【第六分団】

佐藤 芳弘

佐藤 了史

【第七分団】

笹島 靖典

田中 秀昭



精勤章

【敬称略】

【第一分団】

山口 崇

【第二分団】

渡部 貴幸

薄 大輔

酒井賢太郎

【第三分団】

五十嵐 修

寺崎 光広

渡部 直人

渡部 重信

大堀 正広

【第四分団】

廣瀬 雅志

吉田 和明

伊藤 友和

横山 敦史

【第五分団】

吉田 剛

佐藤 利博

【第六分団】

塚野 雄太

佐藤 寛明

平野 伸也

新井田寛史

渡部 正義

【第七分団】

長谷川 満

長谷川 豊

【親子等消防団員表彰】敬称略

山内 真一・山内 新吾

【退職団員感謝状】敬称略

元第1分団団長 山口 享

元第3分団団長 遠藤 健

元第6分団団長 五十嵐正康

新国竜太郎

坂内 功

生江 謙一

古川 徳彦

齋藤 裕二

安藤 義和

佐藤 考一

渡部 嘉友

石綿 誠

佐藤 啓太

若桑 勝豊

長田 和之

武藤 淳一

佐藤 祐輔

手代木 大

小林 隆幸

桑原 慶太

渡部 賢一

平成23年度 会津坂下町のごみ排出状況

町では、増えつつあるごみの減量化・再資源化をめざして、平成16年に「ごみ処理基本計画」を策定し、平成27年度までに目標を定めています。

下表は、町の家庭系ごみの量とリサイクル率について、ごみ処理基本計画における目標値と平成22～23年度の実績を表にしたものです。

平成23年度については、前年度に比べて家庭系ごみの量は5・3%減少して、3872・8tとなりました。また、一人一日あたりのごみの量は前年から4・8%減少して、601gとなりました。共に前年よりも改善し目標に大きく近づき、あと少しで達成できる状況にあります。

一方で、ごみのリサイクル率については、前年度より0・2%向上し21・4%となりました。可燃ごみも、分ければ資源として活用することができます。ごみに出す前に、もう一度分別できないか確認をお願いいたします。

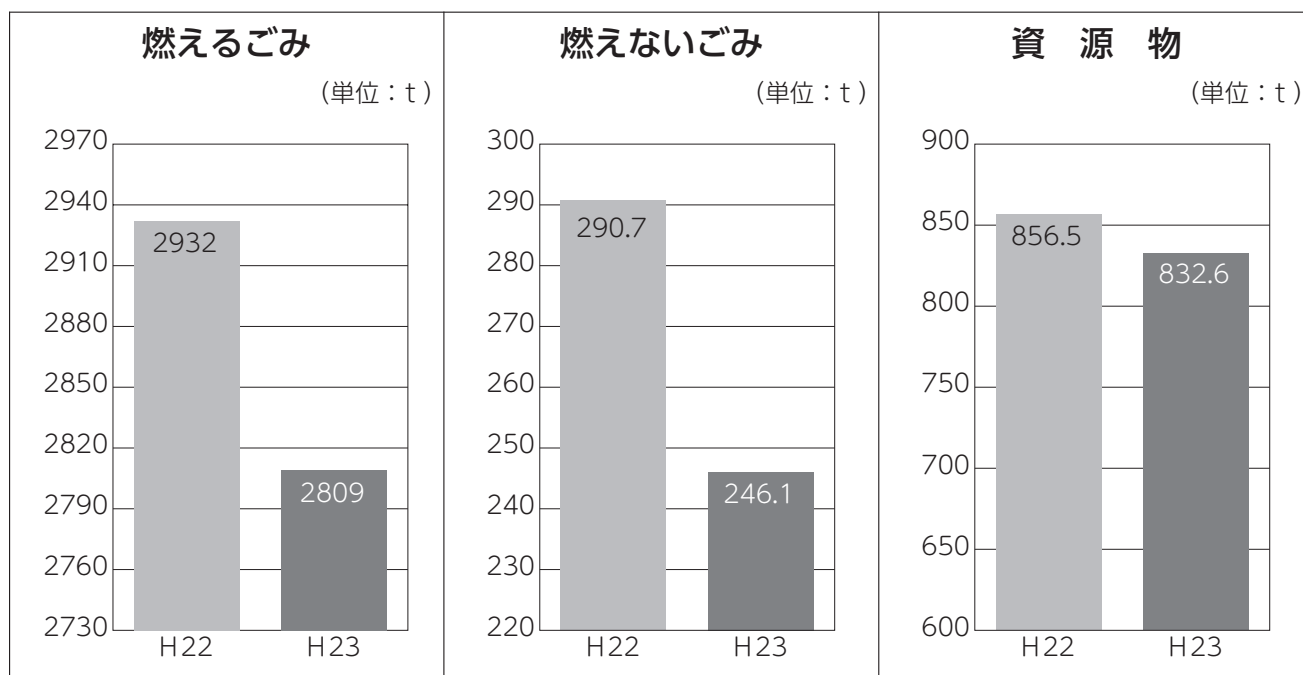
ごみの減量化は一人ひとりの取組みが重要です。ごみの減量化・資源化をめざし、みなさんのご協力をお願いいたします。

▼問い合わせ先

戸籍環境班 ☎ 84・1500

ごみ処理基本計画における目標と実績（平成22～23年度）

項目	目標 (平成27年度)	平成22年度	平成23年度	前年比
町の家系ごみの量 (全体量)	3644 t 以内	4079.1 t	3872.8 t	-206.3 t
	(目標との差)	(435.1 t)	(228.8 t)	(-206.3 t)
町の家系ごみの量 (町民一人一日あたり)	599 g 以内	630 g	601 g	-29 g
	(目標との差)	(31 g)	(2 g)	(-29 g)
ごみリサイクル率	26.0%以上	21.2%	21.4%	0.2%
	(目標との差)	(-4.8%)	(-4.6%)	(+0.2%)



藍と木綿織物

『会津坂下町史 第三巻 通史編 Ⅲ 近代・現代』では、木綿織物産業について触れている。

明治四十三年（一九一〇）発行の『河沼郡案内』によれば、当時の河沼郡内の工産物で清酒の次に生産量の多いのが木綿織物とある。その2／5を広瀬村青木の大和屋（大和機業場）や山木屋（ヤマキ織物）などの近隣の村々の業者が生産していた。



藍畑

による。

同地では、藍から藍玉を製造して会津の染屋（紺屋）に広く販売しており、『新編会津風土記』でも、市が立ち交易で繁盛したと記録されている。明治の頃は徳島県からも藍玉の買い付けに来ていたほどであった。

藍を染料として使うのは、色が長持ちし、汚れが目立たず、しかも布が強くなる利点があるからである。さらに、ヘビ除けや虫除けにもなった。

また、木綿は湿気の少ない砂地を好む植物で、高寺地区や青木などの大川沿いの集落で栽培された。肌触りが良く暖かく、「ジバン」「サツパカマ」などの仕事着に最適であった。加えて、反物の耳に赤・白の糸を入れて選別を図ったり、縞模様においては、六百種類以上の見本を揃えていた。

このような素地があり、会津木綿の代名詞とでもいえるべき青木木綿は広まっていったと考えられる。

ちなみに、アメリカ版の「サツパカマ」であるジーンズは、元々炭鉱夫用の仕事着で、生地は綿にヘビ除けや虫除けのために染料としてインディゴを使っている（最初は藍から作っていた）。

『青木木綿』

調査報告書が発刊される



平成十二年、青木区から青木木綿保存の要望が町に提出された。これを受け、どのような保存方法が望ましいか検討した。すでに廃業していた青木の木綿工場を繊維産業として復活させることは困難なことから、民俗文化財として、青木木綿に関する一連の資料を収集し、将来は、広瀬小学校等を利用して一般に展示公開することを平成十四年に決定した。

平成二十年には、ヤマト光学株式会社佐藤義光社長から青木木綿製造に関する大量の民俗資料が寄贈された。

この中で特に注目されたのは、木綿の端切れや注文見本であり、これこそが青木木綿を物語る貴重な資料であった。古い織機さえあれば、青木木綿を織れると思われがちだが、

実際には縞見本がなければ青木木綿は織れない。このことから、文化振興班では、青木綿の手本帳を作成するため縞柄の整理を優先的に実施し、この度、報告書を作成した。

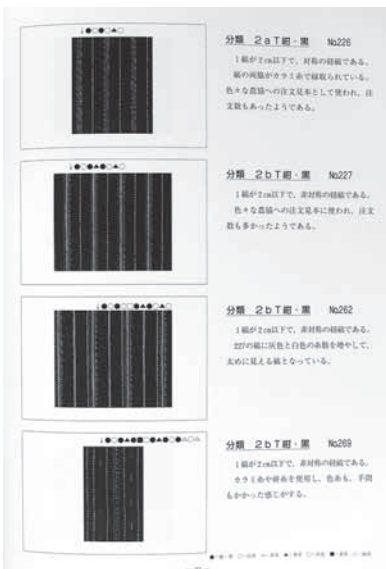
この報告書では、六一七種類にも及ぶ縞柄が確認できた。これまで居住地域により縞柄の幅が異なるといわれていたが、今回の調査により、地域、制作年代で、縞柄に差異があることが明確になった。

また、民俗学研究者である福島県立博物館の佐々木長生氏に依頼して『青木木綿の歴史と民俗』を掲載できた。

この報告書は、文化振興班において、一冊一五〇〇円で頒布しています。

▼問い合わせ先

町史編さん室 ☎83・2234





図書室だより Vol.24

中央公民館図書室 TEL 83-3010 (定休日: 第2火曜日)



おすすめ新着本・話題の本のご紹介

新着本・あづま号の本は延長が出来ません。必ず2週間以内にご返却ください。
紹介の本が貸出中のときは予約が出来ますので、カウンター職員までお申し付けください。

一般	舟を編む	一般	ピエタ
	三浦しをん/著 光文社 2011.9		大島真寿美/著 ポプラ社 2011.2
	分類番号 913		分類番号 913
	ジャンル 日本の小説		ジャンル 日本の小説
2012年(第9回)本屋大賞受賞。玄武書房勤務の馬締は、新しい辞書『大渡海』を編む仲間として辞書編集部を迎え入れられたが…。言葉への敬意に満ちた「辞書作り」の過程は興味深く、個性豊かな登場人物たちのドラマも魅力的です。		第9回本屋大賞第3位。18世紀、作曲家ヴィヴァルディは孤児を養育するピエタ慈善院で音楽的才能を見出された女性たちにヴァイオリンを教えていた。ある日彼の訃報が届き、残された一枚の楽譜を巡る謎が物語を動かしてゆく…。	
こども	あさになったのでまどをあけますよ	こども	かいけつゾロリ はなよめとゾロリじょう
	荒井良二/著 偕成社 2011.12		原ゆたか/さく・え ポプラ社 2011.12 「かいけつゾロリシリーズ」50巻
	分類番号 E		分類番号 K913
	ジャンル 日本の絵本		ジャンル 日本の児童文学
2012年(第59回)産経児童出版文化賞大賞受賞。新しい一日をむかえるために窓を開ける子どもたち。なにげなく繰り返す日々の中にこそある希望やよろこびを描いた絵本。美しい絵が心を打ちます。親子でいっしょに読みたい本。		みんな待ってたゾロリシリーズさいしん作！ゾロリがいよいよけっこん？ 見つけたらけんしょう金100おく円というお宝を手に入れたゾロリは、ぶじにお宝をとどけて、お城とお嫁さんをゲットできるのでしょうか？	



ライブラリーバッグ(図書貸出袋)をご利用下さい。

雨の多い季節になりました。
雨の日には静かに読書を楽しむのも良いものですね。
傘で手がふさがっているときや、雨で本が濡れてしまいそうなど、
図書室では「図書貸出袋」をお貸ししています。
お気軽にお申し付け下さい。



まちの話題

横沢 拓くん、横沢 翔くん、 蓮沼隆世くん、五十嵐礼くん、 蓮沼萌生さん、 空手の全国大会で上位入賞



5月14日に、ザペリオ学園1年横沢拓くん（前列右）、坂下中3年横沢翔くん（前列中央）、坂下中2年蓮沼萌生さん（前列左）、坂下中3年蓮沼隆世くん（後列右）、坂下中3年五十嵐礼くん（後列左）が全国大会出場報告に町役場を訪れました。

5人は、4月28日・29日に行われた全日本青少年空手道選手権大会に出場し、高校生男子の部で横沢拓くん、中学生男子の部で横沢翔くん、中学生女子の部で蓮沼萌生さんが優勝、中学・高校生棒の部では蓮沼隆世くんが優勝、五十嵐礼くんが3位の好成績を残しました。

5人は、「これからも一生懸命練習し次も良い成績を残したい」と話していました。

8月には、横沢拓くん、横沢翔くん、蓮沼萌生さんが日本代表として、4年に1度の韓国国際青少年空手道選手権大会に出場します。

結婚60周年祝の表彰

町では、例年敬老会の席上、金婚祝のご夫婦とともに、結婚60周年祝のご夫婦の表彰を行っております。人生80年の時代を迎えたとはいえ、夫婦そろって結婚60周年の記念すべき年を迎えることは誠に喜ばしいことです。

町を挙げてお祝いしたいので、該当する方は是非お申込みください。

▼表彰該当要件

- ①昭和27年1月1日～同年12月31日までに結婚したご夫婦
- ②会津坂下町民であるご夫婦

▼受付期間

8月28日（火）まで

※賀詞、記念品等準備のため期間厳守とさせていただきます。受付期間終了後の申込者は、次年度に表彰となります。

▼申し込み方法

下記の申込用紙に必要事項を記入し、郵送または持参してください。

▼申し込み・問い合わせ先

福祉班（③窓口）TEL 84-1522
〒969-6592
会津坂下町字市中三番甲3662

ようこそ！会津坂下町へ 北京五輪陸上男子マラソン 日本代表の佐藤敦之選手が 会津坂下町に転入！



北京五輪陸上男子マラソン日本代表の佐藤敦之選手が5月に会津坂下町の実家に住居を移しました。

5月8日に町役場を訪れ、竹内町長に「福島を拠点に練習し、来年の世界陸上男子マラソン出場を目指す。また、子どもたちへの指導や福島大学での研究にも励みたい」と話しました。

歓談の中では、「坂下でクロスカントリーに適した場所があった。坂下には、自然の資源がたくさんあるのでお金をかけずに整備できる」などと早速競技力向上に向けたアイデアを語りました。

竹内町長は、「佐藤選手が身近にいる事は若い選手や子どもたちにとっても良い刺激になる。また、施設整備などについてもアドバイスをいただきたい」と歓迎しました。



結婚60周年祝 申込用紙

	氏名	年齢	電話番号	
夫		歳		
妻		歳	結婚年月日	昭和27年 月 日
住所	会津坂下町			